

# OUJ神奈川学習センター はるだより

通巻第50号

2012年5月19日発行

発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-0061横浜市南区大岡2-31-1

## もくじ

別れの積み重ね 渡邊 慎介 前所長	2
生涯学習することの意味 濱田 嘉昭 所長	3
平成23年度 学位記授与式	4~5
学生生活に関するアンケート(平成24年4月)	6
学習センターニュース (入学者の集い/心理学講演会/厚木教室移転)	7~8
趙賢淑先生との再会	8
Kーサポートからのお知らせ ほか	9
学生サークルからのお知らせ/同窓会からのお知らせ	10 ~11
学習センターからのお知らせ	12



カワセミー暴れるハゼ (渡邊慎介前所長撮影)

神奈川(みなとみらい)



## 別れの積み重ね

前神奈川学習センター所長 渡邊 慎介

世に速読術なるものがあるようだが、それにはまったく関心がない。乱読などには縁はなく、じっくりと一冊の本を楽しむ方が性に合う。そう思っているので、そんな術を習う気にならない。本は手にしても、ひとりの作家に惚れ込み、そのすべての作品を読み通すことはしない。たまたまの出会いから、息の合う本を見つけると、その作家のものをいくつか拾い読みする。また、記憶力の悪さが幸いし、少し間をおいて同じ本を読み直しても、初恋の人に会うかのように新鮮に映り、飽きることもない。向田邦子さんのエッセイ「父の詫び状」を、ときどき引っ張り出し読み返す。どうしたらこんな文章が書けるのか、読むたびに感心してしまう。

そんな読書好きには程遠い私が、毎月25日を楽しみにしている。給料日ではない。北方謙三さんの文庫本「楊令伝」発売の日なのである。発売日の夕方、駅の本屋に立ち寄り、一冊を求める。それからしばらくは電車の中の読書が楽しい。読み終えてしまうと、ほかの本に付き合い、つぎの発売まで何とかしのぐ。その北方謙三さんを読むきっかけは、面接授業をお願いしている三宅晶子さんの一言、「水滸伝が面白い」にある。「水滸伝」全19巻に続くのが、この「楊令伝」。ともにスケールが大きい、登場人物も多彩で个性的、そのうえ波瀾万丈の展開。面白くないはずはない。

その「楊令伝」第10巻に、「生きているというのは、別れの積み重ねだ」との一節がある。もちろん、別れの場面である。なかなかの表現である。こうした別れの名句はいくらかもある。「さよならだけが人生だ」という井伏鱒二さんによる漢詩の翻訳は誰もが知る。もっともこの詩は、人生に別れはつねだから、いまのこの出会いこそ大切にしたい、と

の意味であるらしい。

別れが明確であるのに対し、出会いは必ずしも衝撃的とは限らない。最初の出会いはいつであったかはっきりしないが、何度か会って人柄に触れるうちに、その人の良さに気づく、そんな経験は数知れない。だから、出会いのおぼろげな記憶と別れの明瞭な区切りを比べれば、出会いに勝ち目はないので、別れに名句が多くなるのだろう。

別れに特別な意味があるのではない。どのような交わりをしてきたか、それが別れの場面で問われるのだ。神奈川学習センターには、「水滸伝」、「楊令伝」の登場人物のように、さまざまな経験、豊かな個性、立派な人格など、集う方々は多士済々である。だから、楽しい交わりの3年間、教えられることの多い3年だった。

思い出深い別れを、また積み重ねることができた。

感謝。

### 【退任】

放送大学神奈川学習センターを平成24年3月31日付け退任されました。



退任教職員	
所長	渡邊 慎介
准教授	原田 順子
教務係員	中野 菊夫

## 生涯学習することの意味

神奈川学習センター所長 濱田 嘉昭

4月からまた神奈川学習センターに勤めることになりました。客員教授の先生方、職員の皆様と、そして何よりセンターで活躍される学生の皆様と力を合わせ、さらなる発展を目指していきたいと思っております。どうぞ、ご協力をお願いいたします。

さて、2011年の東日本大震災は、現在の私たちに多くの反省と再生への課題を突き付けています。それにしても、外国の目から見れば、日本国民の沉着冷静な行動と、迅速な復旧・復興への歩みは驚くべきものになっています。これには日本人の高い知識・教養としっかりしたコミュニティーの存在が深くかかわっていると考えます。放射能に関しても、もっと知識があり、あるいは正しい情報が伝わっていれば、その後の大きな混乱の多くは軽減されたのではないのでしょうか。教育あるいは学習の重要性はますます高まっていると考えます。

私たちは、人として誕生以来、家庭・学校・地域から教育を受けて育ちます。この過程で、それぞれ、言葉とともに家族や人の愛・基本的な知識や技術・社会規範や民族の伝統、習慣、文化といったようなものを教え育まれ、“個を陶冶”され、社会に生きる人としての素養を身につけます。空間的に比較的小さな社会、社会の進展がゆっくりした時代では、前記の教育で十分であったのですが、現在では、知識や技術の進展が非常に早く、学校で教わった知識はすぐに古くなります。情報通信および交通手段の発達により、人にとって地球は狭く、目まぐるしく変化しています。文明の急進展・グローバル化により、伝統文化だけが価値の基準にはなくなっています。ここに生涯学習の大きな意味があります。ここでは“教育”ではなく、“学習”という文字が使われていることに注意しましょう。自ら継続的に学ぶことにより、変動社会に対してしっかりと“個を確立”することが重要です。

一方、現在の日本は高齢社会と言われ、年金や社会保障の仕組みが大きな政策課題に

なっています。もちろん、これまでの人類が経験したことのない人口構成の中で、どのようにこれを克服していくかは歴史的な意義をもつでしょう。しかし、私は、高齢者が社会の単なる“支えられる階層”だけであってはならないと思います。特に、国土が狭く、天然資源に必ずしも恵まれていない日本では、知識を蓄え経験を積み、鍛えられた高齢者は人的資源になるべきと考えます。そのためには、いよいよ学習を深め、経験と技量を社会に還元できる人材の確保、いわゆる“知識循環型の社会”の仕組みを構築する必要があります。

放送大学はこの知識循環型の社会の機能の1つを担っている、いや担わなければならないと考えます。具体的どのように実現し、発展させていくかは、皆さんのアイデアと協力次第です。積極的な提言をお願いいたします。



### 【新任教職員紹介】

放送大学神奈川学習センターに平成24年4月1日付け採用になりました。

どうぞよろしく願いいたします。

新任教職員	
所長	濱田 嘉昭
客員教授	影井 清一郎
客員教授	村田 忠禧
教務係員	佐藤 結香

## 平成23年度学位記授与式

3月24日渋谷のNHKホールにて、平成23年度学位記授与式が行われました。東日本大震災の影響で2年ぶりの全学での式となり、22年度、23年度の卒業・修了生で会場は3階までの席がほぼ満員となりました。学部、院の総代は、ともに神奈川所属の高橋さん、安達さんがつとめられました。

### ○総代として

#### 高橋 昭善

2月の20日過ぎ、千葉の大学本部からの話として、学部生総代の話をもたらされました。役割は学位記授与式における謝辞文の朗読でした。まさに晴天のへきれきであり、それ以後、式終了するまでの日々は緊張の連続でした。

しかしながら正直、謝辞すべき対象にぼやけがあります。なぜならば保護者の管理下にある学校生とは異なり、放送大に学ぶ我々の多くは、自分自身の学習管理と責任のみに学んでいることで、「謝」は一義的には、税金を使用させていただいている国民への「謝」であるものと考えたからです。とはいえ、学習ができたこと、何よりも健康であったこと、等々を考えれば決して一人だけで卒業できるものではありません。



まずは気持ちの整理を行い、期日が差し迫っているところから、早速に構想を練り文章の作成に取りかかりました。時間にゆとりはありません。そこで下記(1、2、3)の事柄を中心にして文章化し、式当日多くの皆さん方の前に臨みました。

1. 東日本大震災における、同じ放送大に学ぶ仲間へのおもい: 昨年の5月末、青森センター白神山地学習における津波と放射能に苦しんでいる仲間(石巻・郡山)とのふれあいと、その後の手紙のやりとりから。
2. これから生き抜く若い仲間への期待: 今もって印象に残っている面接授業の一つ「母性健康科学」における未来の看護師さんと思われる仲間の一学習場面。
3. 私自身への励まし: これまで学んだ学習の1部紹介と卒論主題へのかかわり。そして今後も継続していき

たい自然科学の探求とそのロマンを励ましとして。

むすびとして、震災後NHKラジオで度々語られた渡辺憲司氏の「時に海をみよ」の一節をいろいろな思いを胸にして読むことにいたしました。



「時に海をみよ。孤独を直視せよ。海原の前に立て。自分に夢があるのか海に問え。青春とは、孤独を直視することなのだ。海をみつめ、大海に出よ。嵐にたけり狂っていても海に出よ。」

いつまでも、いつまでも青春でありたいものと願っています。

それにつけても多くの方々による、支えがあつての学位授与式であり、総代であったことに厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

### ○修了生総代として

#### 安達 美帆子

修了生総代として謝辞の大役を終え、ほっとしております。

若い頃の勉強とは異なり、放送大学で自分が決めた研究テーマに沿って勉強した日々は、本当に楽しく至福の日々でした。授業番組の視聴や参考図書の閲覧、論文資料の収集などでは、神奈川学習センターにいろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

今後は同窓生として放送大学と関わっていきたいと思っております。また宜しく願いいたします。



## ○放大卒業式の学歌合唱に参加して 放大神奈川合唱団 馬場 信一

### ・NHKホールの舞台上で歌う

卒業式で学歌を合唱するのは楽しいものですね。それは卒業生を送る気持ちが合唱団の心をつなげて歌うことができたからだと思います。

指揮者のタクトに合わせて大勢の声が和するとキレイに聞こえるものですね。満席の卒業生を前にして歌えるかな？という不安感と緊張感も味わいました。

### ・歌い始めた頃

学歌を「NHKホールで歌いませんか」と誘われて合唱団に入りました。

歌い始めた頃は、自分が思っていたほど声が出ず、初めてだからしょうがないと思いながら、枯木も山の賑わいと思って続けてきました。新井先生から「声を少しずつ長く送り出し易くする体操」や「魚の口形で鼻腔に響かせる発声法」など具体的丁寧な指導をして頂き、そのお陰でレッスンを重ねるうちに途切れがちなカスレ声も繋がるようになりました。

### ・いよいよ本番

当日は、晴れやかな卒業生でNHK会館は満席でした。心地よい緊張感のなかで岡部学長の指揮と新井先生のピアノに合わせて歌い終わることができホッとした気分と満足感がジワーと湧いてきて感激でした。

歌い終わったあとの昼食会では、無事に歌い終わった皆さんの明るい笑顔は満足感でいっぱい、ビールの乾杯も声高らかでした。

### ・歌詞から教えられるもの

最近、歌い始めた頃より同じ曲でも随分と意味合いが変わってきたなと感じています。それは放大で“学ぶよるこび”を知り、更に歌詞のなかにある「知を展(ひら)き、さらに生(いのち)を拓(ひらく)」という歌詞に教えられ、今からでも変わる部分が自分にもあるのかな？と思えるようになってきたからです。

これからも歌詞に相応しい生き方と歌い方ができるよう歌い続けたいと思っています。



## ○「卒業にあたって」

北郷 順子

原宿の駅からNHKホールに向かうと、さまざまな思いが浮かんできました。2年先輩の私は、はじめはひとりでのんびり学習していたのですが、そのうち夫も入学して、科目をたくさん履修していたので、これでは先に卒業されてしまうので2教科のところを5教科に増やしペースをあげて、1回目はどうか先輩の私が先に学位記を手にすることができました。夫に試験の前は目がつり上がっているよと、よく言われました。

面接授業の時はお互いに、家事の事など話し合い協力しました。奈良の面接授業で「阿修羅像」を勉強して拝観してきた夫は、後日、上野で「阿修羅展」が催され時には異なった印象を受けたようでした。

今回、2度目の卒業にあたり2人で卒業式に出席できる満足感が感じられ、放送大学で学習できて良かったと思いました。

卒業式の後、知人のHさんとささやかなお祝いの食事をし、楽しいおしゃべりをしました。



NHKホール玄関



謝恩会神奈川学習センターテーブルの記念写真

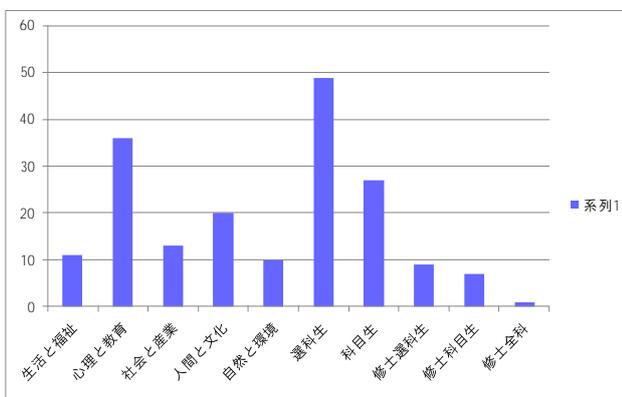


退任される先生方の挨拶～謝恩会

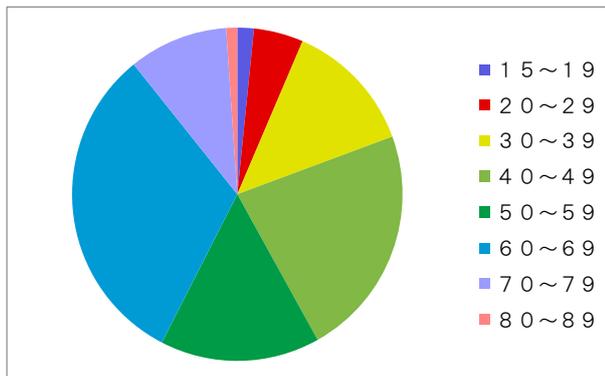
## 平成24年4月 学生生活に関するアンケート K-サポート機関紙編集チーム

4月8日(日)神奈川学習センターの入学者の集いには、新入生約320名が参加、前年度同様のアンケートを実施し187名からの回答を得て回収率は、58%でした。

第1問は、学生種別(下図)です。全科生、選科生、科目生の割合は、49%、32%、19%で、昨年に比べて全科生の割合が増えるとともに選科生の割合も増え在学期間の長期化の傾向があります。コースでは心理と教育の割合が拡大し全科生の40%が心理と教育に属しています。



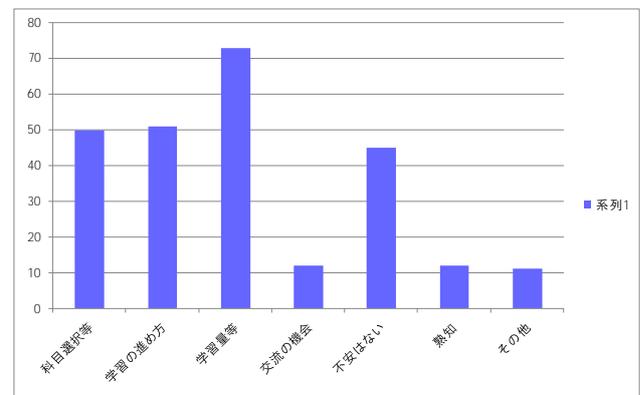
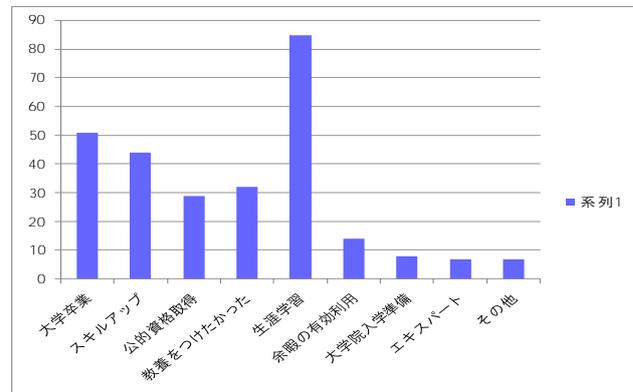
つぎに、年齢構成です。(下図)10代から80代まで年代の方がいます。60代と40代にピークがあり、20代から30代の若年層に減少傾向があります。



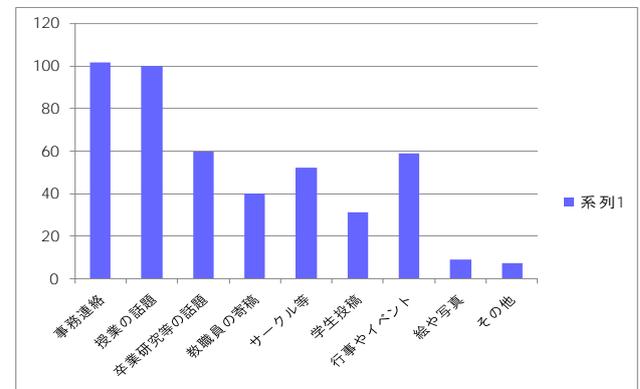
入学動機(右上のグラフ)を見てみましょう。生涯学習を上げた方が圧倒的で、例年よりいっそう顕著になっています。続いて、大学卒業、スキルアップと続くのは例年通りの傾向、エキスパートをあげられる方は若干減少傾向があるかも知れません。

入学者が、どのようなことに不安を感じているかを聞いた質問(右中のグラフ)です。不安がないという方が、以前と比べて増加傾向にあります。今回は大幅に増え2、3位に僅差の4位となっています。一方、交流の不安は例年より少なくなっています。

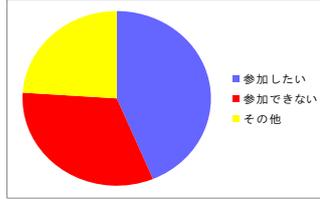
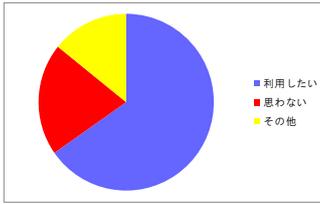
本誌、学習センターだよりに期待される記事内容



(下のグラフ)は、事務連絡、授業、卒業研究・・・と続きます。今学期は、面接授業の話題を取り上げる方が、増えて事務連絡と並ぶくらいになっています。会場で配布したふゆだよりに面接授業の記事が掲載されていたことも影響しているかも知れません。そのほかは、例年と同じ傾向がみられ、大学の話題、学生の話題、いろいろな分野にニーズがあると思われます。これからも、いろいろな分野の話題を取り上げてゆきたいと思いました。授業や研究の話題を今後強化してゆく必要性を感じています。



学習相談について参加したいか否か聞いた結果(右ページ上)です。2/3の方は利用したいと答えています。バス研修旅行についての参加希望では、半数近い方が参加したいと答える一方、1/3の方は、仕事や介護などの理由で参加できないと答えています。



学習相談を利用したいか？ バス研修旅行に参加したいか？

○K-サポートへの要望(自由記入/抜粋)

- ・学習不安解消のため活用したい。
- ・昨年度のウォーキング資料が興味深かった。
- ・K-サポートのあたたかい挨拶でホッとした。
- ・単位の取り方、認定心理士のことで助言を受けたい。

- ・サポートを利用したいが役に立つか不安である。
- 大学、サークル、その他(自由記入/抜粋)
- ・図書館・再視聴の21時過ぎまでの時間延長してほしい。
- ・サークル活動など学習センターが遠いので、地域での活動があれば参加したい
- ・各サークル年配の方が多いので、気後れした。
- ・講演会を増やしてほしい
- ・各種の交流活動を行ってほしい。
- ・学習センターの枠を越えたサークル間の交流。
- ・学費のクレジットカード払い。
- ・入学者の集いの情報等をホームページに記載希望。
- ・資格取得後どのように役立っているか聞いてみたい。



## 入学者の集い

4月8日神奈川学習センター第8講義室にて平成24年年一学期の入学者の集いが行われました。会場には、前年を上回る320人超の参加者がありました。

はじめに、濱田所長の挨拶。神奈川学習センターはひとりひとりがさまざまな目標を持って学ぶ、生涯学習の場ですが、楽しく最後まで頑張る学習していた



だきたいと思います。と話されました。

続いて、教職員の紹介、学習センター利用の仕方の説明、K-サポート、同窓会、学生団体の紹介と



続きました。

このうち、合唱団の演奏は、「学歌」と「東北に春よ来い」の2曲。式後、新入生からこんな声を寄せられました。「私は東北の出身です。“東北に春よ来い”の合唱を聞き故郷を想いだし感激しました。放送大学の人たちが“東北を応援してくれている“のがうれしく感じ、とても元気づけられました。」



会うことは少なくとも、私たちは、新入生のみなさんがいつかきっと学問成就されますよう願っています。

(合唱の部分は、馬場信一さんからのご寄稿です。)

## 心理学講演会

昨年末から2月まで、心理学を学ぶ3回シリーズの講演会が、神奈川学習センターにて開催されました。

第1回(12月11日)は、記憶の心理学～なぜ「あれが思い出せないのか～講師に、福田幸夫横浜国立大学教授をお招きして、身近な記憶のお話から記憶メカニズムの話へと心理学の楽しさを



名取洋典講師

話を引き出すには～講師は、神奈川学



福田幸夫教授



橋本和幸講師

習センターで面接授業も担当されている名取洋典横浜国立大学非常勤講師のサッカーを例にしたお話。第3回(2月5日)は、臨床心理学～心の問題を考える～講師は、橋本和幸了徳寺大学講師、臨床現場での体験も交えつつ臨床心理学とはどのようなものか？という講演。心理学を学ぶ～認定心理士の資格～講師は、福田幸夫横浜国立大学教授でした。

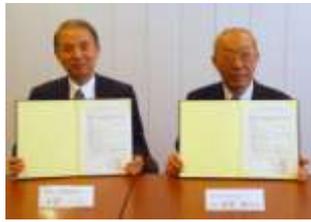
第1、2回では、講演のあと、放送大で学び、認定心理士を取った方の体験談もききました。



## 厚木教室が、神奈川工科大学キャンパス内に移転しました。

2月22日神奈川工科大学貴賓室にて、神奈川工科大学 小宮一三学長と神奈川学習センター渡邊慎介所長による覚書締結が行われ、平成24年度より厚木教室を、神奈川工科大学付属図書館内に設置することになりました。

新しい厚木教室の所在地は、本厚木駅からバスで約20分(片道280円)の神奈川工科大学キャンパス内にです。交通は、若干不便になりますが、広いキャンパスと大学内の図書館等の施設も利用で



小宮神奈川工科大学学長(左)と渡邊前所長(右)

き、じっくりと学ぶ上での学習環境は、格段に良くなりました。県央地区のみなさま、是非、ご利用いただければと思います。



再視聴スペース



図書館入り口



図書館内



学内公園から図書館を望む



## 趙賢淑先生との再会 (京畿道 楊平)

呉 春美

釜山からKTX142号に乗りソウルへ2時間41分の旅、それから地下鉄に乗り龍山へ。龍山からは中央電鉄線(国鉄)に乗り換え、龍門へ。ソウルから約2時間かかるこの場所は京畿道楊平郡のリゾート地である。山岳地帯の一角、龍門山(1157m)が近くにあり、その龍門寺のイチョウの木(樹齢1100年とか)は天然記念物で現在、韓国に生存しているイチョウの木の中ではもっとも大きく古いものである。豊臣秀吉の朝鮮攻めで、寺が焼き討ちにあった時もこの木だけは焼け残ったという歴史を語る大木である。今回は皆さんを案内できなかったが、前回訪れた時、私は威風堂々とした佇まいに感動さえ覚えた。

ソウル駅では慣れない切符の購入で四苦八苦したがどうにかクリアし、龍門駅には夜10時頃到着。ここ楊平は2年程前、韓国語同好会で先生をして下さっていた趙賢淑さんのお父さんの故郷である。手作りのペンションを昨年開業されたというので今回の旅行に繋がった。

我々の到着が大変遅くなったにも拘らず家族総出で歓待して下さいました。韓流ドラマさながらに吐く息が白く、大地は凍てついて



いたがペンションの中は暖かく時間が経つにつれ、着ている服を一枚脱ぎ、二枚脱ぎと私はとうとうトレーニングウェア一枚になっていった。なんとオンドルというのは暖かいのでしょうか、感動です!! そうこうしているうちに外のテントから「バーベキューだよ～」と声がかかる。こんな時間から? 「夕食済ませてきましたから大丈夫です」と言いながらもだるまストーブの周りに集まり蒸し牡蠣、焼き牡蠣、発泡スチロール一杯の牡蠣を堪能。ほくほくのサツマイモも次々といただき、白く丸々とした可愛い子犬も3匹足元に遊び、韓国語、日本語入り混じり日付けの変わるころまで大変楽しい時間を過ごすことが出来ました。

翌朝、趙先生とお母さんが韓国の伝統的な料理、どんぐりや野菜の料理、ナムル、渡り蟹のしょうゆ漬けなど豪華な朝食を準備して下さいました。それを美味しくいただき、私達は別れを惜しみながらソウルに戻りました。カムサハムニダ。



## Kーサポートからのお知らせ

### ○2011年度Kーサポート活動発表会

今回で5回目となるKーサポートの「活動発表会」が2月19日(日)午後開催されました。2011年度は、神奈川学習センターの講義室が会場となり、関係する教職員とサポーターである学生・院生、卒業生が参加しました。

前半は各チーム(学習相談、機関紙編集、地域連携、バス研修・行事サポート)の活動発表が行われました。今回は関係者以外に、サポーターの知人1名が傍聴にお越しくださいました。

休憩をはさみ後半は、チームごとに2012年度の活動計画の打合せ、続いて計画の発表が行われました。ここでは本部の濱田教授、坂井教授、また当センターの渡邊所長、原田准教授、宮崎事務長からご助言をいただき、参加したサポーター一同、新年度の活動への気構えを新たにしました(教員の所属、役職は当時のものです)。

(事務局 垣谷江里子)

### ○学習相談チーム

Kーサポート学習相談、6月24日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階、談話室の相談コーナーで行っています。予約は不要です。放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。6月5日(必着)までに提出する「通信指導」についても、助言や指導いたします。

### ○バス研修旅行・行事チーム

★今年度のバス研修旅行の日程が決まりました。10月12日(金)予定です。

★参加人数 大型観光バス1台(定員48名)

★行き先、申し込み方法については現在検討中です。決まり次第、掲示板などでお知らせ致しますのでお待ち下さい。

★サポーター募集中です。事務局垣谷、チーム員に声をかけて下さい。

### ○地域連携チーム(ウォーキングの会)

今年度は「いざ鎌倉」シルーズ 第2回目として金沢から古道・朝夷奈切通を抜け鎌倉へ入るコースを考え、下見ウォーキングや勉強会をしております。鎌倉時代からずっと昭和31年まで幹道として歩き続けられた峠の道、現在はハイキングコースになっています。

静寂な森の中、鎌倉時代に山を垂直な崖に削り、造られた切岸の道、杉木立から木漏れ日がさす、でこぼこの土道、これが横浜なの？錯覚しそうです。峠を

境に鎌倉。鎌倉時代には六浦津に荷揚げされたさまざまな物資、金沢の塩場でとれた塩はもちろんのこと、鎌倉住人の生活を支える物資や文化を運んだ道、唐から輸入された数々の貴重な宝物も運ばれました。最も鎌倉幕府が重要視したのは軍用道路としてです。700年前にタイムスリップして、ゆったりと森の木々や鳥の鳴き声を見聞きしながら歩きましょう。また5月、6月は横須賀方面のウォーキングを企画しています。

どなたでも参加できますので、所定の日時・場所に集合してください。お待ちしております。

ウォーキングの会代表 藤田 緑

## 談話室に学生用パソコンを移設

3月下旬より、図書室に設置してありました学生用パソコンが談話室に移設されました。

申し込み不要で、学生番号とパスワードにより、システムwakaba、キャンパスネットワーク、オフィス等の基本ソフトとインターネットが利用できます。



## 研究発表会などのご案内

### ○第1回所長主催「研究発表会」

とき:6月2日(土)13:30~16:00

ところ:神奈川学習センター第4講義室

※5月26日まで発表者募集しています。

### ○客員教授によるゼミ

神奈川学習センターの客員教授

藤原一繪先生(植物生態学)

影井清一郎先生(プログラミング、画像処理等)

村田忠禧先生(中国近・現代史、中国関係論等)

によるゼミ(受講しても単位の認定はされません。)が開かれています。詳細は、学習センター事務室まで。

### ○生命環境科学研究会主催講演会

星 元紀 客員教授、松本 忠夫 教授、二河 成男准教授とゼミ生OBのつくる研究会で講演会を行います。

とき:5月26日(土)13:00~17:00

ところ:神奈川学習センター第6講義室

・「都市型完全無農薬植物工場によるサステナブル農法」  
・「学校マネジメントを視野に入れた高校生のキャリア教育について」

・「個性の強みを活かし、自己の目的・目標、チームの生産性を上げるFFS理論」

参加無料、要申し込み。(空席がある場合は当日も受付いたします。詳細は、学生用掲示板をご覧ください。)

申し込み:045-222-3117(キーストーンテクノロジー)

lifeenvouj@livedoor.com

## 学生サークルからのお知らせ

### ○神奈川放友会

☆放友会キーワード: ネットで繋がる・相互啓発・  
緩やかなしぼり・サムシングニュー・楽しむ放友会  
\*\*\*\*\*主な活動\*\*\*\*\*  
★会員相互研究発表 ★リクリエーション  
★会内同好会の活動 ★パソコン教育活動  
5月:平成24年度放友会総会 5月26日(土)  
6月:パソコン勉強会 6月第1・2・3・4水曜日  
旅に行こう会 歌舞伎鑑賞他 6月17日(日)  
年会費:2千円;但し10月新入会員は千円  
ホームページ→<http://kanagawa-hoyukai.jp/>  
文書責任者 神奈川放友会 金田 保男

### ○韓国語同好会

★4月21日学習会終了後、12名の参加者で  
中華街でランチを済ませ、外国人墓地、山手  
西洋館、大韓民国総領事館、  
そして、港の見える公園と散策しました。親睦  
の一時を過ごしました。  
★月例会、第1・第3土曜日(原則・変更有り)  
初級、中級別授業10:00~13:00 童話の会1  
3:00~15:00  
ホームページ→<http://www.hangugo-ciub.org>  
連絡先;murata@hangugo-ciub.org(村田)

### ○放大かながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。  
学習日時:第2、第4木曜日 13時30分~15時  
30分。  
場所:神奈川学習センター 実習室:申込制  
★ウォーキング部:月1回、「東海道五十三次」実  
施中。名所旧跡文化 施設等も対象  
★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。  
上記の各種活動はいずれも自由参加。  
—会員募集中(随時申込・受付)—  
問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384  
E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

### ○人間学研究会

1. 例会の予定(いずれも午後1時開会)お問い合わせ  
・参加申し込み:安田武夫TEL045-775-0879  
・5月27日(日) 神奈川学習センター第4講義室  
「人間研交流サイトhitokengrpsの紹介」  
・6月23日(土)「宗教大国—アメリカ」  
・7月 8日(日)「歴史に学ぶ 幻の進駐軍東へ」  
2. 歩きましょう  
(お問い合わせ:大出鍋蔵 TEL046-841-7937)  
5月11日時点で、開催決定した企画はありません。  
スケジュール等は上記までお問い合わせください。

### ○中国語学習会

☆学習日:第一、第三日曜日  
☆学習時間:10時~12時 中級(告旭平老師)  
13時~15時 初級(楊雪老師)  
我が国の文化、言語などに影響を与えた国、  
近くて少し距離感のある国、難しいことはさて  
おき純粋に中国語と会員間の親睦のイベント  
などを楽しんでいる会です。  
学習日にぜひ見学にいらしてください。  
☆連絡:万場(まんば)由美子  
(046-293-5521)

### ○うえるかむKanagawa

☆例会は毎月第2第4水曜日(変更もあり)  
午前中はカリフォルニア大学バークレー校出身の  
Richard先生との英会話。  
午後はEnglish songsとGroup study。午前、午後と  
も自分に合うグループを選べます。午後は入門グ  
ループがスタートしました。  
☆ゲスト講演会:6月27日(水)1時~2時30分  
石田エリカ講師  
☆5月30日(水):ズーラシア見学(小雨決行)JR中山  
駅バス停10時集合 参加希望者は石橋まで  
masahikoishibashi@yahoo.co.jp  
☆うえるかむ名画座:「エデンの東」日時は追って  
掲示板で。  
☆活動の様子は下記のHPでご覧下さい。  
<http://welcome-kanagawa.jimdo.com/>  
☆問合せ:星(045-844-9647)  
reikosunflower@yahoo.co.jp

## ○ダンスサークル（社交ダンス）

レッスン日 毎月第2火曜日と第4火曜日  
 時間 午後2時～4時まで 終了後、談話室にて雑談、参加は自由です。  
 費用 年会費 入会時に1000円 レッスン料 月1500円 2ヶ月(偶数月)毎に集めます。  
 場所 第7講義室  
 その他 全科履修生の選択科目である体育実技(1単位)が取得できます。年1回研修と親睦を兼ねて楽しい一泊旅行を行っています(希望参加)レッスンの見学は自由です、どうぞいつでもおいでください。  
 お問い合わせ 放送大学ダンスサークル  
 宮川 Tel/Fax 045-933-9753

## ○神奈川合唱団

楽しく一緒に唱いましょう。  
 今年、学位記授与式にNHKホールにて学歌を唱いました。発声法に特に力を入れた指導を受けています。また“歌声喫茶”を設け仲間との親睦を深めています。気軽に見学においで下さい。  
 場所 大岡地区センター(神奈川学習センターの向い側)  
 第1、第3水曜日 午後6時～8時30分  
 連絡先 家田 0466-34-7545  
 赤松 044-288-0655

## ○資格取得研究会

看護・福祉分野のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、看護学士と放送大卒を目指す方、看護師試験を受ける方、医療関係、福祉関係のキャリアアップや認定心理士を取られる方などで構成されています。内容は例会(情報交換)と講演会の聴講、見学会など。

これからの例会予定

- ・5月27日(日)10:00 学習センター第1講義室
- ・6月17日(日)10:00 学習センター第4講義室
- ・7月15日(日)10:00 学習センター講義室未定

会費: ¥500(1年間)

ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>

お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

## 神奈川同窓会だより

- ☆ 第23回通常総会を5月27日に行います  
 同窓会会員数589人。日常的には、波濤ネットやホームページ、月例的には弘明寺サロンなどで、会員同士の絆を結んでいます。平成24年度の活動計画(案)には、新たに名誉会員制度の導入、波濤ネット参加資格に高機能携帯電話の追加などが盛り込まれています。会員の皆様の参加をお願いいたします。
- ☆ 総会の後、15時から講演会もあります  
 演題「現代のICT技術について」講師は葛貫壮四郎さんです。 아이폰、アイパッド、フェイスブックなどの実演をまじえての講演です。どなたでも参加できます。
- ☆ 6月19日は、「能と狂言鑑賞教室」です

2012年3月30日(金)

HOSODAIGAKU KANAGAWA DOSOKAI  
**神奈川同窓会公開講演会**  
 放送大学 神奈川同窓会  
 神奈川同窓会会長 本村 謙紀

神奈川同窓会では総合開催にあたり、下記のとおり記念講演会を実施いたします。  
 今年度は同窓会の会員以外の皆様にも広く自由にご参加いただき、ご感想を伺いながらご講演とさせていただきます。

記

日 時 平成24年5月27日(日) 15:00～16:30

会 場 放送大学神奈川学習センター 第3講義室

演 題 現代のICT技術について  
 過去のICTと対比して、アイフォン、アイパッド、フェイスブックなどの実演をまじえての講演です。

facebook

ITドクター

講 師 葛貫 壮四郎(くづぬき そうしろう)

1962年3月(株)日立製作所日立研究所入社  
 研究所在職時「電力制御、エシペータ制御、FAX、ペン入力、車載情報システムなどの研究開発・製品化」  
 2008年3月 IT-DOCTOR CORPORATION設立。4月日本営業所設立。  
 ITコーディネータとして、経営戦略支援、情報化支援IT構築、ネットワーク構築、セキュリティ対策などのコンサルティングを実施中  
 放送大学教養学部産業と技術・人間の探究卒業  
 現在自営と専従コース在学中  
 放送大学同窓会会長、放送大学同窓会理事会会長歴任。  
 2011年放送大学同窓会事務局長に就任。

お問い合わせ先  
 神奈川同窓会事務局長 吉田 夜美  
[yuu@kanetsu-02031@comai.co.jp](mailto:yuu@kanetsu-02031@comai.co.jp)  
 申し込みは不要です。

## OUJ神奈川学習センターだより編集部

赤松、家田、入江、遠田、笠井、吉川、木下、笹崎、三國、和田

(50音順、以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

石塚(学習センター事務局)

なお、カット絵は、よーこさんの作品です。

# 学習センターからのお知らせ

## ◆面接授業追加登録について◆

平成24年度第1学期面接授業科目の追加登録受付は下記のとおりです。(教養学部生)。詳細は「平成24年度第1学期面接授業時間割表」をご参照いただくか「各学習センター」へお問い合わせください。

空席発表 :4月18日(水)

追加登録期間:4月～7月開講授業 → 4月24日(火)～科目ごとに定められた追加登録受付期限日まで

8月開講授業 → 4月24日(火)～7月15日(日)

## ◆通信指導について◆

平成24年度第1学期放送授業の「通信指導」提出期間は下記のとおりです。5月8日(火)までに通信指導が届かない場合は、大学本部(043-276-5111)[総合受付]に連絡してください。

**提出期間:5月21日(月)～6月5日(火)大学本部必着**

※ 提出期限を過ぎて到着したものは受理できませんので、余裕をもって送付してください。

※ 通信指導の評価結果により、当該科目の単位認定試験の受験資格が得られます。

## ◆学生募集について◆

学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学の魅力や利用方法をご紹介下さるようお願いします。

【平成24年度第2学期入学(10月入学)の教養学部生、  
大学院修士選科・科目生】

募集要項配布期間:6月1日(金)～8月31日(金)

出願受付期間 :6月1日(金)～8月31日(金)

【平成25年度第1学期入学(4月入学)の大学院修士全科生】

募集要項配布期間:6月中旬 ～ 8月下旬

出願受付期間 :8月中旬 ～ 8月下旬

ご家族・ご友人・知人の方を  
「神奈川学習センター」に  
ご紹介下さい！

